

世田谷たすけあいネットニュース



発行責任者：世田谷たすけあいネット 代表 大矢和親



世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しいとき「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」づくりをめざしています。平成 16 年 5 月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みごとを解決すべく「無料で電話相談」にお応えして、情報の提供やボランティアの出張サポートを行っています。

←重信さんお疲れさま！

新しい年を迎えて

とうとう男性の平均寿命である 80 歳を超えてしまい、たすけあいネットのボランティアでは最高齢になってしまいましたが、今のところ健康で、病院には区の健康診断その他の検査を受けに行くだけで、治療費はゼロという有難い状態です（もっとも歯医者には定期的にかかっています）。昨年は、圧迫骨折で歩行困難の高齢者を 7 か月、延べ 20 回以上に亘り通院介助をして、健康な高齢者が病んだ高齢者を手助けすることの大事さを経験しました。

先日、104 歳の誕生日を健康で迎えられた日野原重明氏の随筆を読んでいたら、東京五輪が開かれる 5 年後も聖路加国際大学の名誉理事長や病院の名誉院長という立場で汗を流すのだと思うとエネルギーが体中に満ちてきた、と書いてありました。

100 歳以上の方が五年先の自らの社会活動をイメージするという事は普通では考えられないことだと思いますが、日野原氏は 104 歳の現在でも 10 年分が一冊におさめられた日記帳を使用しておられ、そこに 2022 年までの予定が書き込まれており、死ぬわけにはいかないのだそうです。日野原氏は病院のホスピスでのボランティア活動以外にも毎日様々な社会活動をされていますが、氏がこのように社会活動への並々ならぬ意欲を持たれたのは、よど号ハイジャック事件で 4 日間機内に閉じ込められた後、開放された時だそうです。

何時までもお元気な方を見ますと運動するだけでなく、社会活動に積極的に参加されている方が多いようです。私も見習わなければと思いました。私の夢は、日野原氏の何十分の一かも分かりませんが、「自分の健康を維持しながらの社会活動への参加」です。

ボランティア 松本忠久

新年会開催！



2 月 9 日、たすけあいネットミーティングの後、恒例の新年会を豪徳寺駅前で開催！参加者は 13 名で、永年ボランティアとして活躍していただいた重信幸男さんの送別慰労会をかねて行われました。また、昨年新たにボランティア登録して仲間になったメンバーも加わり今年も年に一度の楽しみを満喫しました。昨年は、2 回目の事務所移転でいろいろと苦労もありましたが、やっと落ち着いてきましたので、今年も力を合わせて頑張ろうと誓い合いました。

最近の住まいあんしん訪問サービス実績

- 12 月の見守り実績 6 件 訪問 21 回 担当延 8 名
- 1 月の見守り実績 6 件 訪問 21 回 担当延 10 名

最近の相談事例紹介

- 視覚障害のある人から、亡夫が生前世話になった人に挨拶に行きたいので付き添ってもらえるか、と依頼⇒対応可 連絡待ち
- プラスチック製スロープの移動と植木 2 本の伐採 ⇒ 1 名出張
- 家具の扉金具と物入れの引き出し取っ手の補修 ⇒ 1 名出張
- 高齢父親の病院付き添い⇒希望日にボランティアの都合がつかず対応できず
- ベランダのガラス・網戸・床などの掃除⇒1 名出張
- 車いす介助で病院付き添い⇒1 名出張
- 自宅から千代田区の病院付き添い⇒1 名出張予定

電話相談日：毎週火曜日 10:00~17:00

次回ボランティアミーティング 3 月 8 日第 2 火 13:00~

Tel 6379-1300 Fax 6379-1889

●相談日以外は留守電へ、こちらから電話します